



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町9-1

電話：03-3541-5151 担当者の所属・氏名 臨床研修部 伊藤龍一

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 伊藤龍一

指導医 遠藤文康

当院で前立腺癌と診断され放射線腫瘍科で放射線治療を受けた方を対象とした放射性出血性膀胱炎のリスクに関する検討

1. 研究の対象

2012年1月1日から2021年12月31日までに当院放射線腫瘍科で前立腺癌と診断され放射線治療を受けた方で、出血性膀胱炎を発症した方

2. 研究の目的・方法

前立腺癌に対する放射線治療は根治治療だけではなく、手術後の再発に対する治療法としても数多く行われており、治療効果は高く、体への負担が少ない治療法です。放射線照射治療中、副作用はあまり見られませんが、治療後出血を伴う膀胱炎が生じることがあり、問題となることがあります。本研究では、放射線治療後の膀胱炎発症のリスクを研究・同定することで、リスクが高い患者さんには他の代替治療を選択することや、膀胱炎発症を抑えることができる可能性を調査します。

2012年1月1日から2021年12月31日までに当院放射線腫瘍科で放射線治療を行い、その後出血性膀胱炎を発症した患者さんの電子カルテ上から情報を得て結果を解析します。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 患者 ID、イニシャル、年齢、入院・外来の別、身長、体重、患者さんの既往歴や併存症、手術をした際の手術術式、前治療の内容、手術で得た検体の病理組織診断、放射線照射に関する内容、血液検査(血球数、腎機能、肝機能など)、内服薬 等